総合評価報告書（総合評価）

総合評価　　**会社名：**　サンプル③株式会社　　**業種：** サービス（店舗なし）

総　括

地元に密着した広告・販促企画企業として着実に事業基盤を確立しています。また、近年は事業の多角化や主力事業の営業戦略の見直しなど、環境変化の激しい時代に対応した経営をおこなっています。
これは経営者のリーダーシップのもと、スピードのある事業運営ができていることの現れといえます。
今後の事業継続と発展にむけては、組織基盤を更に強化し、サービス業のコアコンピタンスである人材を起点としたマネジメントの整備が求められます。
中長期的なリーダーとなる人材の育成、多様な人材の登用等を推進することで、事業が拡大・多角化に円滑に対応しうる組織基盤を確立できると考えます。

現状について

経営者のリーダーシップのもと、主力であるA事業に加え、B事業、C事業と多角化を進めています。
また、A事業では、地域に密着した強みを持つビジネスであるが顧客の多様化にも努めています。
経営戦略としては、顧客の多様化、事業の多角化により、事業環境変化に備えたリスク分散を図っています。
ただし、立上げ間もないC事業では収益性に課題があり、改善が必要な状況です。
また、人材類型は異なりますがA事業、C事業いずれにおいても、人材育成が全社的な課題であるといえます。

提案について

C事業については、立地・店舗やサービスの改善を継続するとともに、A事業を活用したマーケティング等により集客力を高め事業拡大していくことが、中長期的な安定した収益基盤として求められます。
そのためには、C事業の理念に基づき、現ビジネスにおいて安全・安心で確固たる運営基盤の確立が必要です。
A事業においては、人材育成、チームビルディング等の組織力の強化が、今後の事業継続において重要です。
人事評価制度や福利厚生等の人事面での整備の充実が、一体となった組織風土の醸成につながると思われます。
いずれの事業においても、財務的に健全な今、サービス業の最大の経営資源である人材に厚く投資することが当社の中長期的な発展において重要と考えます。

部門別評価結果

「ヒト部門」　　**全業種共通**

【戦略項目】	【評価指標数】	【平均値】	【レベル】	【コメント】
経営者	7	3.7	Ⅳ	良好な水準です
企業経営	7	3.5	Ⅳ	良好な水準です
管理体制	6	4.0	Ⅳ	良好な水準です
人事雇用管理	5	3.0	Ⅲ	標準的な水準です
人材育成活用	5	2.4	Ⅱ	やや低い水準です
【ヒト部門総合】	30	3.3	Ⅲ	標準的な水準です

※平均値、レベル、コメントは自動的に表示されます　（Ⅰ:1.0～1.9、Ⅱ:2.0～2.7、Ⅲ:2.8～3.3、Ⅳ:3.4～4.0、Ⅴ:4.1～5.0）

「モノ・技術部門」 サービス（店舗なし）業

【戦略項目】	【評価指標数】	【平均値】	【レベル】	【コメント】
商品・サービスの企画開発	10	3.6	Ⅳ	良好な水準です
立地・店舗・設備	0	3.3	Ⅲ	標準的な水準です
マーケティング・営業力	8	3.9	Ⅳ	良好な水準です
物流・在庫	2		***	***
ものづくり	0		***	***
顧客・アフターサービス	6	3.5	Ⅳ	良好な水準です
IT	4	3.5	Ⅳ	良好な水準です
【モノ部門総合】	30	3.6	Ⅳ	良好な水準です

※平均値、レベル、コメントは自動的に表示されます　（Ⅰ:1.0～1.9、Ⅱ:2.0～2.7、Ⅲ:2.8～3.3、Ⅳ:3.4～4.0、Ⅴ:4.1～5.0）

「カネ部門」　　**全業種共通**

【実数分析】		「カネ」部門評価報告に記載			
	戦略項目	【評価指標数】	【レベル評点】	【分析評価】	【コメント】
【定量分析】	収益性	4	4	3	良好な水準です
	安全性	5	5		極めて良好な水準です
	生産性	3	2		やや低い水準です
	効率性	3	3		標準的な水準です
	成長性	3	2		やや低い水準です
	資金管理	4	5		極めて良好な水準です
	【合　計】	22			標準的な水準です
【定性分析】	健全度　（問題あり・やや問題あり・普通・良好・優良）				良好です
	体力度　（不十分・やや不十分・普通・やや十分・十分）				十分です
【カネ部門総合】				Ⅳ	良好な水準です

※定量分析戦略項目のレベル評点、コメントおよび定性分析のコメントは、自動的に表示されます。